

「日本の魅力発見ツアー in 小豆島」

例年、京都・奈良を舞台に行ってきた「日本の魅力発見ツアー」を今年度は12月8日（日）に小豆島で実施し、1年生8名が参加しました。講師は「ブラ☆きなし」でもお世話になった香川大学長谷川修一先生です。テレビ番組「ブラタモリ」の小豆島編でもガイド役を務められた長谷川先生に、小豆島の魅力について「ブラ☆きなし」を振り返りつつ解説していただきました。

最初の目的地は、三都半島。現地に着くと、「あの山を見て何か気がつくことはありますか？」「砂浜の色で気づくことはありますか？」など、長谷川先生からウォーミングアップの問いが投げかけられました。



三都半島でみられるマントル直結安山岩は、地球創成期に大陸を作ったサヌキトイドマグマと同じ成分であるというお話を伺い、目の前の岩壁に悠久の時の流れを感じました。



次に訪れたオリーブ公園では、なぜ小豆島でオリーブ栽培が盛んになったのかを学びました。三都半島では強風が吹きつけ寒さに震えましたが、オリーブ公園は風が穏やかで陽射しも暖かく、オリーブの栽培に適している理由を体感しました。また、「ブラ☆きなし」で学習した本校の地元鬼無地区が地形・地質の弱みを強みに変えて盆栽の産地となったことと、この地域がオリーブの産地になったことの共通点について理解することができました。そして、この地域のオリーブ栽培が1976年の台風によって甚大な被害を受け、このオリーブ公園がその災害跡地の復興のシンボルであることを知り、災害との向き合い方について考えさせられました。



昼食には麺部屋を改装したお店で建物を見学しながら、小豆島名物のひしお丼（オリーブ牛のハンバーグ丼とオリーブはまちのづけ丼）を堪能しました。食事を準備していただく間、なぜ小豆島で醤油づくりが盛んになったのかについて学びました。



午後最初の見学地は岩ヶ谷丁場。大阪城の石垣に使われた石が切り出されたことで有名ですが、現地を訪れると当時作業をされていた人々の息遣いが感じられるようでした。また、残された石の大きさに圧倒されました。



次の見学地は寒霞渓。見頃を少し過ぎた時期でしたが、色づく山と海とのコントラストは絶景でした。この寒霞渓の景色を作り出す地形・地質とともに、この景色を守った人物がいたことについても知ることができました。



今回のツアーの最後に訪れたのは中山の千枚田。オリーブ公園は土石流、寒霞渓はがけ崩れ、中山の千枚田は大規模な地滑りによってできたことを知りました。そして、小豆島という一つの島にさまざまな地形・地質があり、さまざまな災害を乗り越えた後、それぞれの魅力を生み出していることを理解することができました。

